

## 平成30年度第1回南丹市社会教育委員会議 会議録

日時 平成30年6月5日（金）午後3時～午後5時

場所 南丹市園部公民館 3階 中研修室

出席者（順不同・敬称略）

社会教育委員 宇野 齊、岡島賢峰、北村友子、小南 仁、清水範子、中野愛子  
市教育委員会 森 教育長、中川教育次長、寺田社会教育課長、浅田課長補佐  
大塚社会教育係長、村下社会体育係長、井尻文化財保護係長  
西 図書館係長、森 社会教育主事

傍聴人 0人

### 1. 開会

### 2. 委嘱状交付

代表で中野愛子委員に委嘱状を交付。

### 3. あいさつ 森 教育長

2年間お世話になる。一昨年度は公民館、昨年度はスポーツ推進計画について検討検証いただいた。今年度においても引き続き助言をお願いする。

### 4. 自己紹介

### 5. 役員を選出

代表に中野愛子委員、副代表に清水範子委員を選出、承認。中野代表のあいさつ。その他、就任依頼のある役員等について決めた。

### 6. 協議事項

#### ①これからの社会教育事業について

(1)「社会教育事業体系」から、(2)「文化力向上」という課題に対して（事務局説明）  
国の動きを踏まえて、本市の社会教育事業の様々な課題について資料に基づき説明。昨年度は、体育事業に関するスポーツ推進計画を策定した。スポーツと文化活動は生涯学習の上では大事なことと捉えている。今年度については、文化力の向上について検討をお願いしたい。現在、文化活動を行う者の高齢化・弱体化が進んでおり、この傾向が続くと文化力が衰えてくると危惧する。そのことは文化行政の喫緊の課題。つ

いては、文化活動を積極的に進めていくために、検討部会（仮）を設け検討していきたい。

#### □南丹市文化協会の現状を説明

文化協会登録サークルは、会員数が減少しており高齢化も進んでいる。文化協会に所属することで役員が回ってくることを懸念して所属しないサークルも多い。日吉町文化交流協会の話をする、毎年文化祭の作品展示はスプリングスひよしの体育館を使用していたが、パネルや机を運ぶための労力が負担になっていた。今年度から日吉町生涯学習センターで発表の日と合わせて展示することにした。この傾向が続くと文化力が衰えてくる。また、若い人は働いているし、退職した人もすぐに働きに行くため、文化活動をする時間がない。

（意見）

○文化と言えば文化協会だけでなく文化財もある。大河ドラマで明智光秀が取り上げられることが先日報道されていた。小さな集落でも光の当たらない文化財が眠っている。

○文化活動をやろうと思ってもできない。若い人が減っているのではなく入らない。文化協会は今後どうなっていくのかと不安になる。

○文化祭の見直しも必要な時期に来ているのかもしれない。

○俳句の会、人数が減って困っておられた。会員もだが、指導者も高齢化で来てもらえない。

○検討の方向性について、活動を活発にさせるのか、うずもれているもの（団体）を発掘するのかにもよる。

今後、検討していくため検討部会（仮）を設置して進めていきたい。→委員承認。

（3）その他の課題に対して

特になし

8 その他

今後控える総会等の日程を連絡。

9 閉会 清水副代表